

第13回 生存圏フラッグシップシンポジウム (第488回生存圏シンボジウム)



バイオマス資源の持続的生産利用 に向けたSATREPSプロジェクト

「持続型社会の構築に必須のバイオマス・食料資源生産」 に向けた

国際協力・植物バイオテクノロジーの役割と寄与・成果の社会 実装に至る道筋を考える

梅村研二

京都大学生存圈研究所

熱帯荒廃草原の植生回復によるバイオマス エネルギーとマテリアル生産

杉本幸裕

神戸大学大学院農学研究科

ストライガ防除による食料安全保障と貧困克服

松井南

理化学研究所環境資源科学研究センター

ゴムノキ葉枯れ病防除のための複合的技術開発

神谷岳洋

東京大学大学院農学生命科学研究科

稲の安全性と高栄養価に貢献する育種および 水管理技術の開発

康 承源

筑波大学生命環境系

熱帯地域における持続的野菜生産のためのトウガラシ、トマトの革新的な育種技術開発

総合討論

令和4年12月22日 (木)

13:30~17:00

オンライン開催 参加申込み

https://www.rish.kyotou.ac.jp/events/symposium -0488/









協賛:京都大学研究連携基盤持続可能社会創造ユニット



